

株式会社いなげや

〒190-8517 東京都立川市栄町 6-1-1
 広報グループ TEL 042 (537) 5031

2022年10月13日

「移動スーパーとくし丸 いなげや 19号車」開業及び 厚木市との見守り協定締結についてのお知らせ



株式会社いなげや（代表取締役社長 本杉吉員）は、2022年10月27日(木) “移動スーパーとくし丸いなげや 19号車” を神奈川県厚木市でスタートする運びとなりましたのでご案内申し上げます。

弊社では、移動スーパー事業を展開する株式会社とくし丸（徳島県；代表取締役社長 新宮歩）とフランチャイズ契約を締結し、2017年10月に東京都小平市内店舗を拠点に1号車を開業いたしました。東京都・神奈川県・埼玉県で実績を重ねノウハウを蓄積し、この度神奈川県厚木市にある“いなげや厚木三田店” 拠点に19号車をスタートすることとなりました。神奈川県内での移動スーパーは5台目となります。

尚、開業に先立ちまして、厚木市と「高齢者等への見守り活動に関する協定」の締結を予定しておりますので併せてご案内申し上げます。

移動スーパーとくし丸 いなげや 19号車概要

1. 目的

- ・買物弱者対策・・・店舗へ出向くことが困難な方のライフライン・インフラ機能
- ・安心安全な食の提供・・・スーパーマーケットとして、地域の『食』を守る
- ・食の楽しさを提供・・・食と人を通して楽しさ、豊かさを創出
- ・就労機会の創出・・・社会参画の拡大といった社会貢献型の仕事を創出
- ・見守り支援・・・定期的な巡回による地域の防災防犯機能

2. 事業内容

販売委託契約を結んだ個人事業主（今回は弊社社員による直営）が、小型の特装車両（冷蔵設備あり）で弊社店舗の商品を300品目1200点程積み込み、地域の顧客を巡回し直接その場で商品を販売します。



掲示ポスター

3. 19号車の主な営業エリア

厚木市・・・飯山、下古沢、毛利台、緑ヶ丘、宮の里

4. 事業開始日 2022年10月27日（木）

5. 販売担当 藤井 健（ふじい けん）

6. 拠点店舗 いなげや厚木三田店

〒243-0211 神奈川県厚木市三田 2-2-18

「高齢者等への見守り活動に関する協定」締結式概要

1. 目的

店舗に出向くことが困難な高齢者様のお宅に移動スーパーによる訪問を行った際、お客様のご様子を確認し、異変に気付いた時に厚木市に連絡する見守り活動を行います。必要に応じて行政の適切な支援につなげることを目的に、厚木市と弊社が協定を締結いたします。

2. 締結式の概要

日時 2022年10月21日（金） 午前11時～

場所 厚木市役所本庁舎3階 特別会議室

主催 厚木市、株式会社いなげや

出席者 厚木市長 小林 常良

株式会社いなげや代表取締役社長 本杉 吉員

【創業の精神を受け継ぐ】

明治33年（1900年）、いなげやの創業者である猿渡波蔵は、大八車に野菜や干物、卵や農具などを載せ、東京・多摩地域で売り歩いていました。創業から117年後、大八車から軽トラックに乗り換えて、商売の原点となる行商（移動スーパー）を再び始めることとなりました。

【高齢化でニーズが高まる】

買物弱者といわれる方々が全国に825万人（2018年農水省調べ）も存在し、社会問題として深刻化しています。弊社商圏内においても、ご自宅近くの店舗に出向くことが困難な高齢者もいらっしゃる、日々の生活に支障をきたしてくる方々が増えると考えています。そこで弊社は、全国で1055台（2022年9月13日時点）が稼働中の移動スーパーとくし丸のビジネスモデルを導入し、今後益々高まる移動スーパーのニーズに対応してまいります。

【お買物が出来る楽しさを提供】

弊社は「移動スーパーとくし丸」を運行することにより、生活に必要な品物を「見て、聞いて、触って、感じて、選んで・・・」といったお買物ができる楽しさを提供してまいります。

【地域のお役立ち業として貢献】

今後台数を増やすことを計画しており、増加する高齢者に対して日々の「食」を通じたインフラの役割を果たしてまいります。また、定期的に訪問することで、単なる移動販売で終わることなく、地域の見守りといった“安全・安心”に貢献すべく各自治体と連携を図るなど、真の“お役立ち業”として取り組んでまいります。

いなげやグループビジョンは、「“地域のお役立ち業”として社会に貢献する」としております。とくし丸の活動を通じて、お客様の健康で豊かな食生活の実現に貢献してまいります。

いなげや移動スーパーとくし丸 公式ホームページ <https://www.inageya.co.jp/tokushimaru/>